

一、爭議團ノ状況

爭議團々ハ從來ノ如ク午前八時本部ニ集合午後五時  
散會スルヲ例トシ毎日約四〇〇名ノ出席ナルカ爭議  
ノ延引ニ伴ハテ一般ニ倦怠ヲ覺ハ幹部ハ集合ノ際激  
勵的指示或ハ集合時間ノ履行等ニツキ注意ヲ其々專  
ラ士氣振興ニカメ居レルハ漸次意氣銷沈ノ状況ニア

而シテ容月二十八日墨西哥労働總同盟運輸部幹事長  
エミリオオバラガン退京ノ際ハ曩ニ今人ヨリ爭議資金  
ノ寄贈ヲ受ケタル謝禮ノ意味ト一面爭議團ノ氣勢ヲ  
示ス目的ノ下ニ大衆見送リヲ為サントセルヲ以テ當  
衆ニ於テハ豫メ見送り人負ヲ減少スル（会期前夜）ト  
トテ爭議團ヲ

表示スヘキモノヲ携帯セサルニト、其他一切示威的行  
動ニ出ラサルニトテ嚴達シ置キタルニ之ヲ遵守レテ  
審目東京駅ニ見送リタル者男工約四〇名女工八〇名  
ニテ示威的行動直ルカ知キコトナリシカ翌二十九  
日ハ「バラガン」ノ出京ヲ見送ルハ「男女工各十名  
横浜へ越キタリ  
送テ「バラガン」ノ勸メニ應シ関東同盟會執行委員  
上井直作ハ七月五日出發後墨合國労働總同盟大會ニ  
出席スヘシトノ風説アリタルモ事實無根ナリ  
ニ應援状況  
毎日東京紡織労働組合吾黨支部ヨリ一〇〇名内外ノ  
來接アル外他組合ヨリノ來接ハ漸次減少シツ、アル